

地域ICT推進協議会(COPLI) 第1回 幹事会(討議項目)

1 開会 会長あいさつ

2 討議事項

会長、副会長からのご提案

(1)・役員刷新について

- ・2019年度中に組織の在り方を検討。
- ・会長、副会長、監査、顧問、事務局までの全てを対象とした刷新を検討する。
- ・現状、規約に基づき、役員は会長の選任事項であるが、その選定方法や任期、人数等の選任に関わる全てについてを2019年度中に検討

<意図>

- ・2017年度からの事業計画に沿い、今後10年を見据えた、因習に捉われない時代に沿った組織となる為の見直しを行う。

**①出席者全員を対象に刷新についての意見や役員を務める中での想い等をヒアリング**

■幹事を務めている経緯、想い

- ・幹事は前任の異動により引継ぎ、幹事をする中でCOPLIを理解し、活動に関わる機会となっている。
- ・長年所属しており、幹事の集まりを楽しみながら務めている。
- ・年齢のこともあるのでCOPLI役員を退くことになっても、Over60等のプロジェクトチームがあれば参加して活動を続け、COPLIを応援していきたい。
- ・幹事会に参入して日が浅いが、組織としては意義のある団体だと思うので、どのようなことができるのか、これから具体的な内容を知りたいと思っている。
- ・地域と学生を繋げ、若者を神戸に定着させる為には必要な組織。
- ・インターン時など、COPLI所属であることから得られる安心感がある。
- ・COPLIの取り組みへの参加が就職への力にもなっており、継続してほしいと思う。

■役員の入替(刷新)について

- ・継続するか否かではなく、ゼロベースで選任手段を考えたい。
- ・2017年に組織の在り方を幹事で検討し、「若返り」がテーマとなったが、役員自体が若い必要はなく、常に活発な議論ができる方法を考えるべきだと思う。
- ・内容を知る人物も必要かと思うので、半数入替はどうか。
- ・新規会員はなかなか組織に入りづらいと思うので、COPLIを理解してもらい、関わりやすくするために、ルールとして幹事会に入ってもらえるのはどうか。
- ・新規会員は幹事参入ではなく、セミナーなどの方が参加しやすいのではないかと。
- ・異動が多い組織もあるので、幹事企業としては変動がなくとも、幹事(個人)の入替はあるように思う。
- ・幹事でなくてもよいが、内容を知る為に幹事会の議論を聞く席が欲しい。
- ・任期について、1年では内容の把握程度しかできず、行動に移す為には2～3年は欲しい。
- ・組織の若返りと女性の参画を促進したい。(力宗)

■新規会員および幹事以外の会員の活動について

- ・全会員が参加しやすくする為に、総会のような、毎月〇日等決めた定期的なイベントを実施してはどうか。
- ・定期的なセミナーの開催が必要だと思う。外部講師を呼ぶだけでなく、会員の取組を紹介したり、プロジェクトの中間発表を行うなど、交流の場として定期開催してはどうか。（以前は会員が講師を行う形だった）
- ・総会だけでは活動に関わりにくく、忘年会ではその場限りになりやすい傾向にある。
- ・委員会の時は幹事でなくとも意見の吸い上げる場があつて良かったという意見もあった。

■幹事の担うべき役割について

- ・組織の在り方は定期的に見直し、変えていくべきであると思う。
- ・プロジェクト形式導入前の幹事は、委員会に所属し企画することが主な役割だったが、プロジェクト形式導入後は承認することが幹事の役割になっている。本当に幹事の役割はこれでいいのか。
- ・プロジェクトを軸とした幹事会（プロジェクトリーダーで構成等）はどうか。
- ・ヒエラルキーではなく、フラットであるべき。
- ・承認機関＝幹事とするのであれば、スピードを上げる為にも数を減らすべき。
- ・幹事会から啓発的な企画を立てる機関（委員会のようなもの）を創ってはどうか。
- ・「やりたい事」があればプロジェクトとして実現できるのは良いが、「やるべき事」を実行するメンバーがいないように思う。時代に沿った新しい企画と継続すべき企画のバランスを保つ為、その役割を幹事が担ってはどうか。
- ・幹事はエンジンになる人が務めるべきだと思うが、その存在は稀少であり、見つけて繋げる存在が必要。その役割を幹事が担ってはどうか。

<刷新することにより解決したい課題>

- ・新規会員がより深く COPLI に関われる取組を考える。
- ・幹事の在り方の再定義を行う。審議だけでなく、本当に組織が必要とする役割を担う。
- ・若い世代の活躍の場を広げる。
- ・プロジェクト形式にすることにより、需要があるにも関わらず実施できていない活動を再開させる。
- ・幹事が増え続ける傾向にあり、審議の速度が落ちている。

②現行の規約（役員選任）に基づいて会長が主となり、各人の意見を元に方針を定める

- ・幹事会よりプロジェクトチームを結成し、2019年度の1年をかけて幹事の在り方を議論し、必要とされる企画・交流の場の検討を行う。
- ・リーダーは役員刷新の起案者である、山本副会長とする。
- ・プロジェクトメンバーは立候補が可能だが、人数が多すぎる場合、山本副会長が選定する。
- ・本プロジェクトに参画しない幹事の本年の主な役割はプロジェクト等の審議とする。
- ・女性や若手等、特に参入すべきと判断された場合、幹事外であっても本プロジェクトに加入することができる。
- ・本プロジェクトの結果に基づき、2020年度は役員に関わる大幅な規約改正の可能性がある。

・事務局の運営について

(2) 監事よりの指摘事項およびご提案

- ・今後の方針、役割等について
  1. 公的機関（神戸市等）との連携
  2. 現状を維持することも大切

### 3. 役員一新について

問題なく機能しているように思う。刷新する場合はその選定方法等が課題となるのでは。

#### ・事務局運営費用について

事務局が担う業務の内容が変化してきているので、必要業務や時間数を洗い出した上で、必要であれば委託費の更改を検討してはどうか。

### (3) 事務局より、上記を踏まえた上での今後の流れについてのご提案

#### ・総会での決議事項および進行について

- ・総会の冊子が既に印刷に入っている為、幹事の在り方については口頭もしくは別紙作成により総会の承認を得る。
- ・進行について、例年事務局長が行っていたが、幹事が持ち回りで担当していただくことは可能か。(会長・副会長には事前に相談済) →承認。2019年度はコベルコシステムの植木様へ依頼。

#### ●今後のスケジュール

- ・5月17日(金) 15:00～ 総会(生田神社会館 4階)

### 3 閉会 副会長あいさつ

／以上

地域ICT推進協議会(COPLI) 第1回 幹事会(連絡事項)

1 総会について

日 程：2019年5月17日(金)  
場 所：生田神社会館 4階「蓬莱の間」 交流会「富士の間」  
開始時刻：15:00  
総会セミナーについて

(1) テーマ：「システム情報技術による都市生活のデザイン」

講師：藤井 信忠 氏  
信時 正人 氏

(2) 総会用資料について

①活動報告(投影用資料)

- ・データを事務局までお送りいただいている方は早急にお送りください。  
当日持参される方は、その旨を事務局までご連絡ください。
- ・当日の発表時間は各プロジェクト3分以内でお願いします。

2 決算報告について

(1) 会計報告 および 2018年度の決算報告、2019年度予算案について

①会計報告(2019年3月末時点)

②2018年度決算報告および2019年度予算案について

③監査報告

4/5(金)13:00～ 事務局(ワイズエッグ)にて完了

2 プロジェクトについて ※Noは未承認を含む申請順に採番

(1) 2018年度実績について

申請：12件 1,975,200円

承認：11件 1,675,200円(決算額 1,112,161円) ※1件は申請取り下げ

2017年度委員会予算計

2,157,207円(決算額1,041,338円) 決算前年比106.601%

(2) 2019年度 承認済プロジェクト

00 兵庫・神戸IT人材就職フェア2020(2019年度分)

01 未来創造型ファシリテータ育成

02 総会セミナー

(3) 今後の立案見込みについて

・忘年会で出たプロジェクト(具体的な検討が必要)

①IT運動会

②IoTを用いたサイクリングツールの開発

③視察ツアー

④3Dプリンタ入門ワークショップ

⑤eスポーツイベント

・メーカーズのエコシステムを神戸に創るための実験プロジェクト～We Can Be a Maker!～

・KIT神戸(ユニフォーム制作)

・ロボマインド・プロジェクト(再)

(4) 前回幹事会にて挙げた課題について

①活動に参加していない会員、会員外への発信と参加促進

→掲示板等を活用、中間報告をする場（セミナーや交流会など）

→セミナーや交流会など場を設定し、幹事などが必ず参加して新規会員を中心に交流を広げてもらってはどうか

→webをプロジェクト形式に対応した形へリニューアル対応済

②プロジェクト制に変更することにより、起案されなくなった企画がある

・海外視察

→メーカーズで予定はしていたが、結果として実行できていない。

予算枠が広がったことにより、案があれば自由度の高い企画を立てることはできる

（ベルリン視察/「N26」のような破竹の勢い・未来がある）

・スマホ教室（地域貢献）

・セミナー（交流視察・地域貢献）

→セミナー後に行っていた交流会は、新規会員や外部との交流の場としても有効

・合同研修

→若手を集める会として、形を変えて実施してはどうか

③スタートアップのような勢いのある企業の参入促進（入会でなくてもよい）

・入会いただけた場合はその目的の把握とフォロー、関係性の構築を行う

・プロジェクトを立ち上げ、スタートアップ企業を月替で紹介

・スタートアップに興味を持ってもらうプロジェクト素案を秋國が作成

※1 幹事企業を中心とした協力・連携が必須となる。

※2 スタートアップが参入することにより、COPLIが大きく変わる可能性がある。

### 3 その他

(1) 前年度会費未納団体について

・2018年度 未納2件/事務局より引き続き対応（2年滞納で退会対象）

(2) 退会申請

・神和台ネット ※書式送付済

区分：特別会員

住所：神戸市東灘区（2018年11月転居）

理由：担当が高齢の為、協力できる状況にない

(3) 入会申請

・株式会社ソラド（元ステップワン 中嶋様創業）※4/23 メール承認済

区分：4万円

住所：神戸市中央区

事業内容：ソフトウェア受託開発、プログラミング関連イベントの企画・開催

紹介：秋國

(4) 後援申請 4/24 メールにて承認依頼済

・リアル謎解きゲーム 人シくんを探せ！In神戸 第2回

主催：DIIIIG（株式会社ワイズエッグ）

日時：5月中旬～6月

場所：生田神社～生田筋～三宮センター街～三宮本通り

後援（予定含む）：

神戸市、神戸市産業振興財団、神戸商工会議所（順不同）

協力（予定含む）：

生田神社、三宮センター街1丁目商店街振興組合、元町1番街商店街振興組合（順不同）

- (5) メイカーズのエコシステムを神戸に創るための実験プロジェクト～We Can Be a Maker!～  
備品のついての共有と課題についての対応

【課題】

- ・メールリングリストの返信がない場合の対応の確立  
→事務局フォローのもと、期限を決めて幹事会の意思確認または幹事会の招集を行う
- ・備品の保管場所とリスト作成、共有  
→リスト作成はプロジェクトチーム、管理（保管場所）は事務局
- ・追加メンバーが入った際の補填予算（視察等の一人あたりの金額の追加）の対応

【承認基準】

- ・当初の出展先が深圳でなく大垣（備品購入）の申請だったとして、承認されたかどうか

【結論】

- ・基準が明確になっておらず、十分な時間とフォローがない状態で起きた初めての事例として特別に承認。  
次回幹事会までに、事務局にて解決策を提案

【補足】

- ・今回のものづくりに関する備品は購入者負担とすることをメンバーで決定。

- (6) 事務局より

①異動等に伴う幹事変更について

- ・株式会社神戸新聞社

2018年度：中山敏暢（デジタル事業局 メディアプロモート室長）

2019年度：大町聡（取締役 デジタル創造本部長）

②平成30年度 近畿情報通信関係団体連携促進会議（秋國）

日時：2019年3月13日（水） 13:30～15:00

場所：近畿総合通信局 4階会議室

内容：・各団体の活動状況報告

- ・意見交換
- ・その他

③名刺の作成について

総会終了後、全会員に向けて COPLI ニュースで希望者を募る

／以上